

2019年度 総合防災訓練

9月6日(金)に大規模地震発生を想定した総合防災訓練を実施いたしました。

午前は地震対応机上訓練を行いました。地震発生時の本部立ち上げから判断行動までをシミュレーションし、本部の動きについて理解を深めました。午後は施設全体での訓練を行いました。館内放送にて地震発生を知らせ、災害対策本部の設置、招集、会議を開催し、各職員が行動リストに沿って利用者及び職員の状況把握や余震発生時の危険回避、施設内の被害状況の点検・確認を行いました。

いつ起きてもおかしくない大規模災害に向け、私たち職員は日々訓練を重ねていきます。



事務長挨拶

7月1日付の人事異動で前任の山本功二事務長から交代して着任しました中村知明です。地元・浜松市北区出身です。聖隷福祉事業団での勤続は30年を超えています。聖隷三方原病院の勤務は今回が2回目です。前回の勤務は2006年におおぞら療育センターが社会福祉法人小羊学園から経営移管された直後の時期でした。その後、おおぞら療育センターは増築工事などを経て安定した運営を続け、今や聖隷三方原病院を代表する機能を担っていることを改めて実感しております。

「聖隷おおぞら療育センター」の強みは聖隷三方原病院の急性期医療に支えられた個別ケアが行えるところです。この強みを生かしながら生活の場としてのおおぞら療育センターが利用者にとつて安心・安全な場所であり続けるよう役割を果たしていきたいと思えます。地域共生社会の実現に向けた取り組みが進められていく中、おおぞら療育センターが地域の皆様を支える施設として貢献できるように尽力いたします。

新入・異動職員紹介

●2号館 伊藤 絵理
5月より育休明けで2号館への配属となりました。今までは病棟経験しかありません。今までは違った環境、領域での看護に不安と緊張の毎日ですが、自分の看護技術、知識が深められるよう成長していきたいと思っております。よろしくお願致します。

●3号館 木村 味甫
ほのか配属になりました。勤務していて、利用者への処置の個別性の高さに驚き、スタッフの方達の優しさに驚き、新しい発見がたくさんです。初めての環境でご迷惑おかけすること多々あると思いますが、よろしくお願致します。

●すばる 酒井 美香
6月1日より聖隷袋井市民病院から異動してまいりました酒井美香です。不慣れなことも多くご迷惑をおかけしますが、利用者が安寧にそして豊かな生活をおくれますように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願致します。

苦情解決委員会より (2019年4月～2019年6月)

受付日	6月24日
苦情内容	(ショートステイ利用者ご家族) 自宅に帰宅後、手のひら保護のために使用している布の当て方が間違っており、親指も一緒に固定された状態となっていた。布を外して指を伸ばそうとすると硬くなっており、ゆっくり時間をかけて戻した。今後、このようなことがないように気を付けてほしいと思い申し出た。
回答日	6月24日
苦情解決の結果	ご家族に布の当て方を間違えたことと、その後に手の状態の確認をしていなかったことを謝罪しました。そして、布の当て方とその後手の状態を確認することを職員間に周知していくことをお伝えし、ご理解をいただきました。



	7月	8月
ショートステイ利用者数 (延べ利用日数)	70人 (380日)	71人 (400日)
放課後デイ利用者数 (延べ利用日数)	45人 (106日)	45人 (218日)
ボランティア参加人数 (グループ数)	10人 (2グループ)	8人 (1グループ)
実習者数 (グループ数)	2人 (1グループ)	5人 (4グループ)